

# 公 表

## 第 55 回技能五輪全国大会「とび」職種

### 競技課題【登り桟橋高床式寄棟小屋組】

次の注意事項に従って、競技課題を行いなさい。

#### 1. 競技時間

第 1 日目 競技時間（制限時間 5 時間 3 0 分）

組立て 0 9 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0、1 3 : 0 0 ～ 1 5 : 3 0

第 2 日目 競技時間（制限時間 3 時間 0 0 分）

解 体 9 : 0 0 ～ 1 2 : 0 0

#### 2. 注意事項

- (1) 支給された材料の品名、数量等が「競技課題」のとおりであることを確認すること。
- (2) 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。
- (3) 競技開始後は、原則として、支給材料の再支給をしない。ただし、クランプ不良の場合は交換する。
- (4) 支給材料以外の材料は、一切使用しないこと。
- (5) 使用工具等は、使用工具等一覧表で指定した以外のものを使用しないこと。ただし、使用工具等一覧表記載の工具等については、予備の工具を予め預けることができる。
- (6) 競技中は、工具の貸し借りを禁止する。ただし、使用工具等の不具合が生じた場合は、競技委員に確認の上、予め預けている予備の工具等を使用することができる。
- (7) 作業時の服装等は、作業に適したものであり、上衣は、長そでとすること。（手袋、安全帯及び保護帽を含む。）
- (8) 競技終了は、後片付け、整理整頓後、時計係に終了報告をした時点で終了とすること。
- (9) 不安全行動が確認された場合は、減点とする。
- (10) 雨天・強風等により競技時間が変更される場合があること。
- (11) 大会当日は、足場の組立て、解体又は変更の作業に関し、労働安全衛生法に基づく安全又は衛生のための特別の教育を修了した証明書等の原本若しくは写しを提示すること。

なお、証明書等の確認ができない場合は、別紙様式により特別の教育を修了していること又は同等の知識及び技能を有していることの申告をすること。

ただし、平成 27 年 7 月 1 日以前に足場の組立て、解体又は変更に関する業務に従事していた者で、特別教育を修了していない者は、証明書等の原本若しくは写しの提示は要せず、別紙様式での申告も要しない。

#### 3. 課題（登り桟橋高床式寄棟小屋組）

次の注意事項及び仕様に従って、別図に示す登り桟橋高床式寄棟小屋組を、鋼管を使用して組み立て、解体を行いなさい。

##### (1) 注意事項

イ．敷板の配置の時間は、競技時間に含まない。

ロ．柱位置の割り出し時間は、競技時間に含む。

- ハ．クランプの先付け及び単管の建て掛けは、当該作業以外の作業において行わないこと。
- ニ．作業順序は、柱の配置を決め、床はり、床けたに鋼製足場板を敷き、栈橋を組立て、小屋組を組立てること。（解体については、逆とする。）
- ホ．基準柱と準基準柱は、控えをとり、柱控え材は、支給材料を一時転用すること。
- ヘ．手摺、中さんは、地面より取り付ける。
- ト．手摺を超える高さの作業については、登り栈橋を使用して高床で作業すること。
- チ．高所作業における資材の運搬は、高床上に一旦上げてから行うこと。
- リ．小屋けた、小屋はりより上部への取付け作業は、とびつき、鋼製足場板を設けて行い、安全帯を使用すること。なお、鋼製足場板の使用については、両端を必ずゴムバンドで固定し、安衛法に基づき使用すること。また、安全帯のフックの位置は、腰より上に取り付けること。
- ヌ．高所作業でのクランプの運搬には、布袋を使用すること。
- ル．とびつきは、全ての部材を取り付けてから取り外すこと。
- ヲ．インパクトドライバーは、解体時のみ使用する。

## (2) 仕 様

- イ．寸法は、図面に示すとおりとすること。
- ロ．柱の根元は、ベース金具を足場板に釘で4ヶ所止めによって固定すること。
- ハ．基準柱、準基準柱は、図面に示すとおりとすること。
- ニ．単管の緊結には、クランプを使用すること。また、部材が直交する箇所の緊結には、直交クランプを使用すること。
- ホ．根がらみ・手摺・中さんは、図面に示すとおり取り付けること。
- ヘ．火打ちは、図面に示すとおり取り付けること。
- ト．小屋組高床の鋼製足場板は、図面に示すとおり足場板の端部を番線にてハコ締めにて固定すること。なお、番線端部は、安全に処理すること。
- チ．登り栈橋控えの栈木及び足場板は、両端を番線でハコ締めにて固定する。なお、番線端部は、安全に処理すること。
- リ．踊り場控えの栈木は、両端を番線でタル巻きとし、足場板は、両端を番線でハコ締めにて固定する。なお、番線端部は、安全に処理すること。
- ヌ．小屋ばり及び小屋けたは、図面に示すとおり取り付けること。
- ル．斜材、方づえは、力学的にみて、有効なところに取り付けること。
- ヲ．合掌、隅木は、むな木の上部に取り付けるものとし、取り合い部分は、突き付けとすること。
- ワ．合掌の下部は中柱に、隅木の下部は、四隅の柱にそれぞれ取り付けること。
- カ．X通り側に平行の母屋は、合掌、隅木の上部に図面に示すとおり取り付けること。
- ヨ．Y通り側に平行の母屋は、X通り側の母屋上部に図面に示すとおり取り付けること。
- タ．小屋における作業通路側（登り栈橋、踊り場）に突き出している鋼管パイプの端部には、単管キャップを取り付けること。

4. 支給材料

高床式寄棟小屋組み部			登り栈橋・踊り場部		
部 材	寸 法	数 量	部 材	寸 法	数 量
敷板（杉板）	4.0m	2 枚	敷板（杉板）	4.0m	2 枚
鋼製足場板	4.0m	11 枚	鋼製足場板	4.0m	7 枚
ジャッキベース	140×140mm	8 ケ	ジャッキベース	140×140mm	9 ケ
柱	単管 3.0m	4 本	柱	単管 2.5m	5 本
中柱	単管 3.0m	2 本		単管 2.0m	2 本
根がらみ	単管 4.0m	2 本		単管 1.8m	1 本
	単管 5.0m	2 本		単管 1.5m	1 本
手摺・中さん	単管 5.0m	2 本	ころばし受け	単管 1.0m	2 本
	単管 4.0m	2 本	根がらみ	単管 5.0m	1 本
	単管 3.0m	2 本		単管 4.0m	1 本
つなぎ材	単管 3.0m	2 本	ころばし	単管 1.5m	1 本
床はり	単管 3.0m	2 本		単管 1.1m	4 本
床けた	単管 5.0m	2 本	床はり	単管 4.0m	1 本
火打ち	単管 2.0m	2 本	床けた	単管 1.5m	1 本
小屋ばり	単管 3.0m	5 本	登り斜材	単管 4.0m	2 本
小屋けた	単管 4.0m	3 本	手摺・中さん	単管 4.0m	4 本
方づえ	単管 1.5m	8 本		単管 1.3m	2 本
真づか	単管 1.0m	3 本	栈木	1,050×50×75mm	4 本
斜材	単管 1.2m	2 本		900×50×50mm	5 本
むな木	単管 2.2m	2 本	番線（＃10）	0.7m	40 本
合掌	単管 2.0m	2 本	くぎ	65mm	36 本
隅木	単管 2.5m	4 本	幅木（杉板）	4.0m	1 枚
母屋	単管 3.5m	2 本		3.4m	1 枚
	単管 4.5m	2 本		1.5m	2 枚
床下斜材	単管 1.2m	4 本	単管キャップ		14 ケ
番線（＃10）	0.7m	20 本	クランプ	直交	141 ケ
くぎ	65mm	32 本		自在	59 ケ
とびつき	単管 3.0m	2 本		3 連自在	6 ケ
ゴムバンド		2 本			

5. 持参工具一覧表

品名	数 量
鋼製スケール（5.5m以上で水平器の付いていないもの）	1
ラチェットスパナ（ひも付）	1
手袋	1
安全帯	1
保護帽	1
安全靴及び安全地下足袋	1
金槌	1
バール	1
カッター	1
落下防止紐（インパクトドライバー取付）	1

6. 会場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
チョーク		1 本	
つり袋	下げフック付	1 区画につき 1 ヶ	
インパクトドライバー	パナソニック社製 EZ75A7（18V5.0Ah）	1 区画につき 1 台	

## 特別教育の受講等に関する自己申告書

私は、技能五輪全国大会「とび職種」競技を安全に実施するために、足場の組立て、解体又は変更の作業に関し、労働安全衛生法第 59 条第 3 項の規定に基づく特別の教育を受けていること又は同等の知識及び技能を有していることを申告します。

平成      年      月      日

氏名 \_\_\_\_\_